

第42回田原市男女共同参画推進懇話会書面決議次第

日時：令和4年2月18日（金）

1 報告事項

- (1) 令和3年度男女共同参画フェスティバルについて 【資料1】
- (2) たはら男女共同参画ニュース「Walk Together」について 【資料2】
- (3) パートナーシップ制度について 【資料3】

2 議 題

- (1) 令和4年度男女共同参画フェスティバルについて 【資料4】
- (2) 男女共同参画応募作品審査について 【資料5】

3 その他

- (1) 各委員の取組状況・意見 【資料6】
- (2) 男女共同参画ほ一もん講座 in 六連小学校 【資料7】
- (3) 愛知県男女共同参画人材育成セミナー参加者募集 【資料8】
- (4) 令和4年度市民活動支援制度紹介(委託事業) 【資料9】
- (5) 生理の貧困報告（社会福祉協議会）

資料の説明

1 報告事項

(1) 令和3年度男女共同参画フェスティバルについて【資料1】

- ・今年度の男女共同参画推進フェスティバルの報告です。コロナ禍のため、会場の変更をし、産婦人科医の講演会を行いました。

来場者のアンケートと懇話会の反省事項は資料のとおりです。

(2) たはら男女共同参画ニュース「Walk Together」について【資料2】

- ・広報たはら8月号に掲載されたものです。男女共同参画作文の最優秀賞を載せています。

(3) パートナーシップ制度について【資料3】

- ・令和4年4月1日から、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に資するため、パートナーシップ制度を導入します。

議題の説明

2 議 題

(1) 令和4年度男女共同参画フェスティバルについて【資料4】

- ・令和4年度のフェスティバルの日程は7月31日、会場は田原文化会館とし、エコフェスと同日開催すること。

内容は講演会を主として、市民活動団体の活動発表等は新型コロナの感染の状況を踏まえて決定すること。

(2) 男女共同参画応募作品審査について【資料5】

- ・審査の結果は以下のとおりです。

7番の「男女差別を無くすために」が1位、

5番の「この先のミライ」が2位、

1番の「男女平等の実現を目指して」が3位となる。

1位が最優秀賞、2位が優秀賞、3位が入賞とすること。

なお、作品について皆様からの講評をいただきたい。

(講評は表決書の記入欄をお願いします。)

資料等の説明

3 その他

(1) 各委員の取組状況・意見【資料6】

- ・各委員の活動についての取組状況や意見です。今後会議が開催されましたら、委員の皆様の事業所等の立場から、男女共同参画に関する活発なご発言をお願いします。

(2) 男女共同参画ほ一もん講座 in 六連小学校【資料7】

- ・12月6日に六連小学校で「男女共同参画ってなあに？」をテーマに市政ほ一もん講座が行われました。下形が講師を勤め、小学生6年生と楽しく勉強をすることができました。資料はその際のお礼文です。

(3) 愛知県男女共同参画人材育成セミナー参加者募集【資料8】

- ・令和4年度の県による人材育成セミナーの募集です。推薦をお願いします。

(4) 令和4年度市民活動支援制度紹介(委託事業)【資料9】

- ・市民参画・協働のまちづくりを促進するため、市民の皆さんが実施する公益的な活動を支援するための補助制度等を設けています。

昨年度と同様に、男女共同参画の啓発をテーマに、市民の方から広く提案募集しています。

(5) 生理の貧困報告(社会福祉協議会)

- ・社会福祉協議会は、生理の貧困の取組みとして、窓口での生理用品の配布や寄付の募集受付を行ってきました。

昨年8月から12月末までに、59セットの配布を行い、寄付は51セットありました。

また、社会福祉協議会のトイレに生理用品を配置する取組も行っています。

表 決 書

別紙 1

令和 4 年 月 日

第 4 2 回田原市男女共同参画推進懇話会の決議事項については、可否欄に ○印 を付したとおり表決します。

決議事項	決議事項に対する可否	
(1) 令和 4 年度男女共同参画フェスティバルについて	可	否
(2) 男女共同参画応募作品審査について	可	否

「ご意見欄、作文の講評等ご記入ください。」

職 名： _____

氏 名： _____

令和3年度男女共同参画フェスティバル

日 時	令和3年8月1日（日） 12:45～15:00
場 所	渥美文化会館文化ホール
開催内容	【オープニング】視覚障害者団体さくらんぼによる演奏 【講演会】宮本由記氏「産婦人科医が語る大人にも知ってほしい現在の性教育」
来場者数	83人

○当日写真

オープニング



講演会



第13回男女共同参画フェスティバル 懇話会委員意見等

○ 開催時間について

- ・開場12:15～、オープニングコンサート12:45～、講演会1:30～、終了3:00は今回諸々の都合で決まったことですが、条件があれば30分ずつ後に移動した時間設定が参加者、スタッフにとってはやりやすい。
- ・講師の都合だと思いますが、オープニングを13:30からスタートしたほうが参加者も分かりやすく参加しやすいと思います。

○ 開催場所について

- ・渥美、田原、赤羽根で毎年変えてもいいなと思いました。
- ・渥美文化会館文化ホールでの開催はコロナ感染症拡大のため、広い会場に密にならないようにできたのが良かった。また田原市の中でこのホールの使用をもっと多くしていけるといいと考えるので集客を工夫できるようにしていけるといいと思う。(コロナ時代は集客工夫不要)
- ・コロナ感染予防のため、広くて良かった。
- ・例年のフェスティバルと違ってコロナ禍のフェスティバルということでどうかな?と思った。
- ・市内で一番大きな会場だったため、密にならずよかったです。

○ オープニングの演奏について

- ・とても良かったです。
- ・「一人ひとりが自分らしく輝けるまち・たはら」という男女共同参画社会推進のテーマにまさに実現している「さくらんぼ」さんのステージでとても良かったと思う。(少々長すぎたかも)
- ・講演の前の緊張がほぐれる良い企画だと思った。
- ・心がなごみました。
- ・正直いってどうかな?
- ・受付に従事していたため聞けませんでした。コロナ禍の中発表する機会があることは、当事者にとってとても嬉しいことだと思います。ありがとうございます。

○ 講演会について

- ・とても良かったです。
- ・男女共同参画フェスティバルの基調講演として最適なテーマだった。
- ・宮本先生が聴衆を考えて内容を吟味して講演されてたいへん良く皆さんに伝わった感がある。
- ・コロナ禍の今、今まで見えないようにされてきたジェンダー不平等による多くの問題点が顕在化してきて、その根底にあるひとつの重要な要素が性教育の不在があるからタイムリーでもあった。
- ・とても分かりやすく勉強になった。今後は保育園や幼稚園等時期からの啓発が必要だと思った。
- ・講師の方が3人の子どもの母親で実践可能な話でとてもよかった。人権の視点、科学に基づいてよく分かった。
- ・講師の先生も“こんな広い会場で”と言っていました。どういうことなのか?なかなか話が伝わってこなかった気がしました。

- ・性教育は「エロ」ではなく「科学」の視点で説明する、受けとめること。私自身、考え方や価値観の修正が必要だと感じました。性について話すためには、普段のコミュニケーションが公私ともに大切で、それを忘れないようにする工夫が必要だと知りました。
- ・要約でよいので、パワポの資料が欲しかったです。

○ その他自由意見

- ・まずとっかかりとして今回の会で性教育の講演をしてもらったが、今後各小学校で性教育を進めていくようにしたい。宮本先生にもそのような話しをしてみました。また学校も大切なことと認識しているので具体化していきたい。
- ・協力した委員の皆さんの手際も良く、スムーズな運営が出来たと思います。
- ・コロナ禍ということで参加者も少なかったと思うが継続することが必要だと思う。広い世代に聞いてほしかった。ティーズが来ていたので放送ができて良いと思う。
- ・田原市内の小中、保育園で常時性教育を取り組んでいくことが必要だと思う。具体的な取り組みに懇話会も参画できるとよい。
- ・話を聞いた自分自身が実践することが最初のスタートだと思います。素敵な機会をありがとうございます。
- ・初めて参加させて頂きましたが、とても勉強になる内容で、さっそく色々な人にシェアさせていただきました。参加者の方からの声にもありましたが、せっかく非常にためになる会なのに開催の情報があまり知られていないのが勿体ないと思いました。男女共同参画フェスティバル、というタイトルをより内容が伝わりやすいものに変えたり、情報発信の方法を増やした方が多くの方に知ってもらえるのかなと思います。また、オンライン参加可能にしたらより多くの方が参加しやすくなるのではないかなと感じました。
- ・このような大変な時に第13回男女共同参画フェスティバルを無事開催できたことに感謝します。

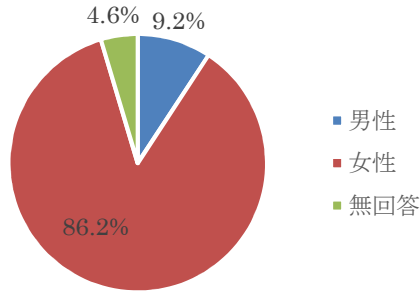
令和3年度男女共同参画フェスティバル 来場者アンケート結果

○イベント概要

日時・場所	令和3年8月1日(日)12:45~15:00@渥美文化会館
全体来場者延べ人数	83名
アンケート回収数	65枚

1 性別

男性	6名(9.2%)
女性	56名(86.2%)
無回答	3名(4.6%)
合計	65名



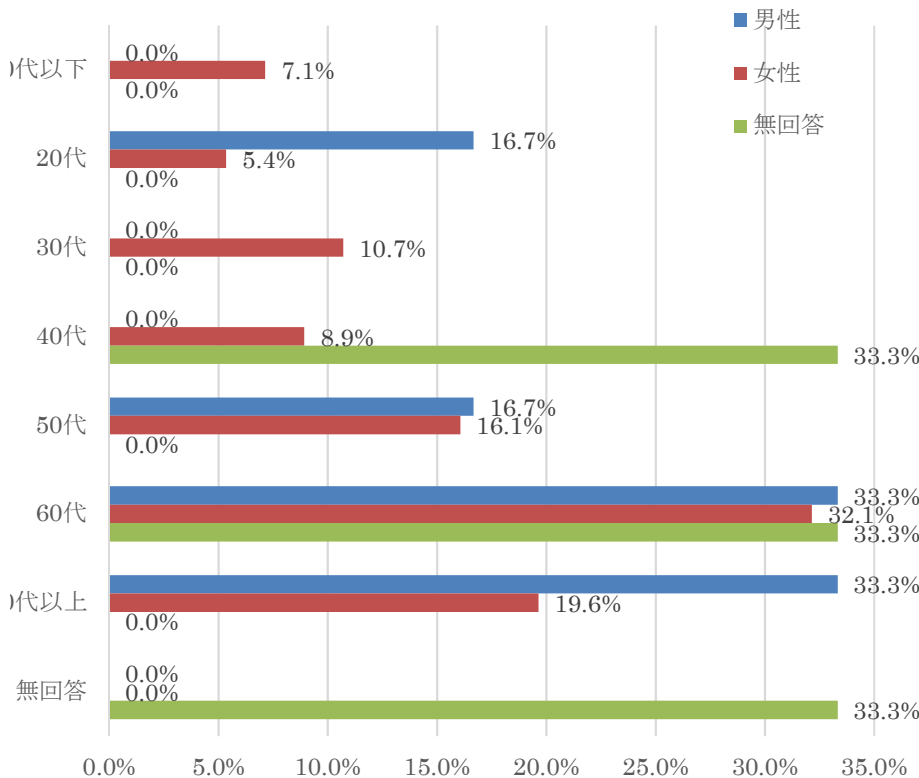
2 年代

年代	割合	人数
10代以下	0%	0
20代	16.7%	1
30代	0.0%	0
40代	0.0%	0
50代	16.7%	1
60代	33.3%	2
70代以上	33.3%	2
無回答	0.0%	0
合計	100%	6

年代	割合	人数
10代以下	7.1%	4
20代	5.4%	3
30代	10.7%	6
40代	8.9%	5
50代	16.1%	9
60代	32.1%	18
70代以上	19.6%	11
無回答	0.0%	0
合計	100%	56

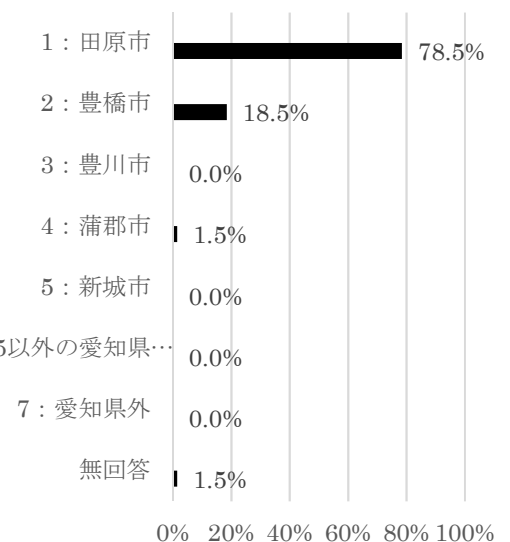
年代	割合	人数
10代以下	0.0%	0
20代	0.0%	0
30代	0.0%	0
40代	33.3%	1
50代	0.0%	0
60代	33.3%	1
70代以上	0.0%	0
無回答	33.3%	1
合計	100%	3

年代



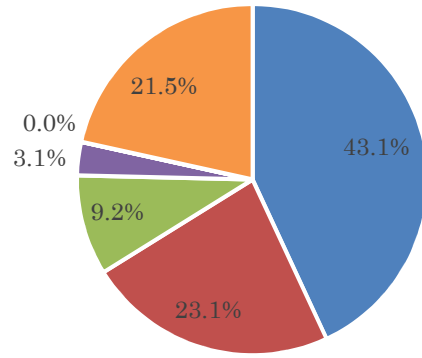
3 あなたのお住まいは？

田原市	51名(78.5%)
豊橋市	12名(18.5%)
豊川市	0名(0.0%)
蒲郡市	1名(1.5%)
新城市	0名(0.0%)
上記以外の愛知県内市町村	0名(0.0%)
愛知県外	0名(0.0%)
無回答	1名(0.0%)



4 フェスティバルはいかがでしたか？

満足	28名(43.1%)
やや満足	15名(23.1%)
普通	6名(9.2%)
あまり満足でない	2名(3.1%)
満足でない	0名(0.0%)
無回答	14名(21.5%)



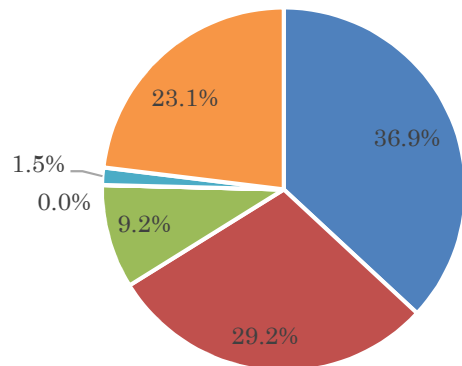
■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ あまり満足でない ■ 満足でない ■ 無回答

【理由】

- ・あまりにも人数が少なすぎ
- ・性教育の大切さがわかりました。
- ・性教育は学校の先生からよりも産婦人科医の先生から学ぶことが大切だと思います。
- ・開催できたのは良かったと思います。コロナが減り、以前のようにブースを設けるようになるといいと思います。
- ・コロナ禍だから他団体と交流できないのが残念です
- ・知らないことを知れたから。
- ・LGBT をもう少し詳しくやってほしかった
- ・講演会の内容が分かりやすく、自分の習ってきた内容とは違う、性教育は恥ずかしいものではないというのが印象的でした。
- ・科学的に伝えるのが大事。
- ・分かりやすく教えてくれたから。
- ・コロナ禍であるので仕方ないがもっと多くの方が参加していただきたいです。

5 オープニングコンサートはいかがでしたか？

満足	24名(36.9%)
やや満足	19名(29.2%)
普通	6名(9.2%)
あまり満足でない	0名(0.0%)
満足でない	1名(1.5%)
無回答	15名(23.1%)



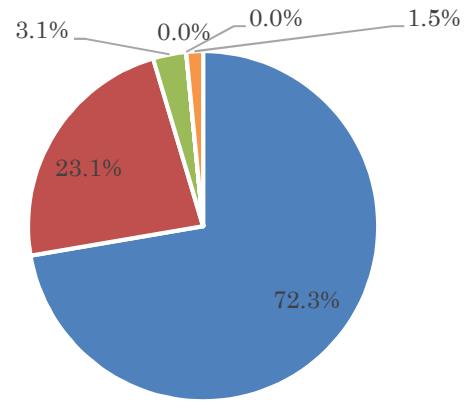
■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ あまり満足でない ■ 満足でない ■ 無回答

【理由】

- ・新聞記事で知って興味があったので聴けてよかったです。
- ・生演奏を久しぶりに聞きました。ありがとうございます。
- ・聴き心地が良かった。
- ・前向きにしっかり生きている姿が音色にも出ていました。
- ・さくらんぼさんの演奏を初めてゆっくり聴くことができました。心に届くととてもあたたかい演奏でした。
- ・いつもよりやりにくそうであった。
- ・お2人とも気持ちのこもった演奏で穏やかな気持ちになりました。前向きな生き方をしたいと改めて思いました。
- ・特に藤田麻衣子さんのカバー曲とても胸に響きました。
- ・男性の方も無理でなかったら歌も聞きたいと思いました。声が気持ち良かったです。
- ・聴いてない
- ・知っている曲が多かったのが楽しかったです。
- ・演奏にサポートを入れても良かったかも。柳田さんの曲良かったです。石原さんお疲れ様でした。二胡とギターのコラボがもっとあればと思いました。

6 講演会はいかがでしたか？

満足	47名(72.3%)
やや満足	15名(23.1%)
普通	2名(3.1%)
あまり満足でない	0名(0.0%)
満足でない	0名(0.0%)
無回答	1名(1.5%)



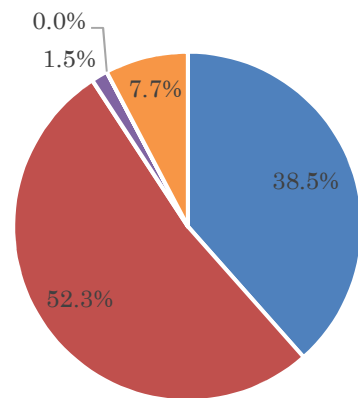
【理由】

■ 満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ あまり満足でない ■ 満足でない ■ 無回答

- ・自分を守る、自分も相手も大切にすることから性教育を伝えていくとハードルが下がったようで、子どもにも周りにも伝えやすかったです。
- ・大変有益でした。家庭でも職場(小学校)でもすぐに活かしていきたいと思いました。性教育の大切さを知っていてうまく説明できずにいたので一歩進めたいと思いました。
- ・子育て中の人たちに聞かせたいと思いました。
- ・きれいごとではなく、現実味のあるお話が聴けて良かった。
- ・性教育には縁遠いが、これから重要だと思うから。
- ・近くに性教育をしている Dr. がいて安心しました。
- ・資料かメモをとる用紙があると記憶しやすい。
- ・今までにないお話の内容でびっくりした。75歳となった今よりもっと若いうちにこんなお話を聞きたかった。
- ・宮本先生のコミュニケーションがとれる相談のできることの大切さがよく分かりました。
- ・宮本先生ご自身の経験や実態をもとに、子どもにどう伝えていけばよいか具体的なヒントを伝えてくれたから。
- ・Dr. の話しが自然体で聴きやすかった。
- ・とても分かりやすく役に立つ講演でした。
- ・性教育を学んできたつもりでも、知らないことが多かったし、新しい考え方、とらえ方を与えられました。
- ・盛りだくさんで、大事なことを知れたから。
- ・具体的な本の提案がありとても良かった。
- ・大満足
- ・性教育をどのように進めていこうか考えていたので、とても勉強になりました。
- ・改めて性について考えてみたい
- ・子育ての時、自分が子どもの時にお会いしてお話を聞きたかった。
- ・広い視野と豊富な場面の具体例を織り交ぜ、分かりやすかった。
- ・分かりやすく教えてくれたからこれから気を付けたい
- ・細かいことを教えてくれたから
- ・内容に興味があり、具体的な話も聞けて良かった。自分を大切にしてほしいと子どもに伝えたいと思った。

7 男女共同参画に対する理解を深められましたか？

十分に深めることができた	25名(38.5%)
やや深めることができた	34名(52.3%)
あまり深められなかった	1名(1.5%)
深められなかった	0名(0.0%)
無回答	5名(7.7%)



■ 十分に深めることが出来た ■ やや深めることができた
 ■ あまり深められなかった ■ 深められなかった
 ■ 無回答

【理由】

- ・男女共同参画の理解には性に関する、この講演が最もふさわしかった。今までにないことでした。
- ・雇用について等資料をいただいたので、しっかり読もうと思います。
- ・初めての参加で内容も意味も分からなかったもので、とにかく開催することが重要なので開催していただいて良かったです。

8. コロナ禍の変化・困りごと

- ・感染予防に気を付け、子どもも大人も自粛することが多く、楽しめることが少ないです。
- ・外出は我慢してきました。マスクは苦痛です。
- ・離れて暮らす家族と1年半くらい会えなくなっています。それでも LINE などにつながりや居場所を意識しています。
- ・友人どうし、会うことがためらわれ孤独感、運動不足、意欲減退などが起こっている。
- ・遠くの友人たちに直接会えないのが寂しいです。
- ・できないことが増えた。
- ・人とのつながりを持つ機会がなくなったこと。共助のしくみが失われないか心配です。
- ・91歳一人暮らしの母が出かけたり友だちと話す機会がなくなってしまう、運動不足から心身の変調につながってしまいました。一時は施設入所も考えたほどです。
- ・職場でコロナ感染者が出たのですが、「教えてほしい」「誰がかかったか広めてほしい」等の声が届き、差別的な意見もあり困りました。
- ・出かけることが面倒になってきた。
- ・子育て支援など人との関わりがなくなり、モチベーションが下がる
- ・友だちと外食できなくなったのは寂しいけれどいつの間にか慣れてきたことで知らぬ間にストレスをためているのかも思っている
- ・お義母さんが施設に入っていますが面会できません
- ・ソーシャルディスタンス。対面での会話ができなくなり、コミュニケーションをとることが難しい。
- ・遠方の親族と会えない不安。不安なニュースが多くて気持ちが落ち込む。
- ・地元行事ができず、地域のコミュニケーション不足。時間制限のため、学校開放など利用者から不満が出ている。葬儀の仕方が変わってきているので、花が売れなくなったと言われています。家族葬でも花を使用してくれる仕組みになればと思います。
- ・不要な自粛が多くて困る
- ・過剰な自粛が多い
- ・仕事面でコロナ不況がきました。

9. そのほかフェスティバルに期待すること等

- ・男女平等はいいことだけど「男らしさ女らしさ(言葉等)…男だから女だからではない」を親が教える。学校だけに任せないようにしたい。
- ・僕の周りを見ていると女性がしっかりしている家族は羨ましい。男なんて褒められたら何でもするから。良い社会にするのにも悪い社会にするのにも親の責任は大きい。
- ・先進国の中で男女共同参画が十分進んでいないと思われるが、なぜ進まないのか、何が原因なのか、また、どうすれば良いのか、どうなるのが理想なのかということをお話してもらえるとありがたいです。
- ・大人も性教育がとても必要だと思います。
- ・8/1 は渥美地区の行事があるので今後そういうことを吟味して日程を決めてほしいです。
- ・ぜひこのような講演会により男女共同参画に関する知識について啓発してほしい。
- ・12回までの取組で何だか自分がやっていることがこの趣旨に合っているのか？と思っていましたが、いろいろ取組に参加することがよいと自信ができました。
- ・これからも前向きな生活ができる機会、日頃の生活を見つめ直す機会の提供をお願いします。
- ・田原市内で養護教諭として勤めていた頃、中3の1~2月卒業前の生徒に「自分も相手も大切にしよう」と性の授業を行っていました。今回の先生のお話を聞いて、あの頃の考え方は間違っていなかったんだ！と安心しました。学習指導要領にしばられ、その範囲内での授業内容に悩んでいました。ありがとうございました。
- ・女性が多かったのも、男性の参加者ももっと増えると良いと思いました。
- ・未だに田舎は古くから伝わる家制度の名残があり、男尊女卑の考えが根深いと思います。農家で夫婦ともに一緒に働いている夫婦の新しいあり方を男女共同参画を交えて話してほしい。
- ・年配の方だと男らしく女らしくということを使う人が多く感じられます。年配の方にもなるべく伝える機会を増やしてほしいです。
- ・今後は中学生など若い方が参加されることが男女共同参画の意義を広めるのは重要だと思います。
- ・来年は以前の形に少しでも戻ることができると良いです。



Walk Together

ウォーク・トゥギャザー

たはら男女共同参画ニュース

～共に考え・共に歩もう～

田原市男女共同参画のシンボルマーク▶

令和
2年度

男女共同参画啓発作品の入賞作品を紹介します

本市では、男女共同参画の意識啓発を図るため、「家庭や地域、学校や職場などで、性別にかかわらず、みんなが自分らしく生き生きと暮らしていくためにはどのようにすればよいか、日頃から思っていること、感じていること」をテーマに、令和2年12月にマンガと作文の啓発作品を募集しました。募集に対して、マンガは6点(小学生の部4点、一般の部2点)、作文は195点(中学生の部194点、一般の部1点)の応募があり、田原市男女共同参画推進懇話会による審査で、入賞作品が決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。



▲入賞作品と
作品に対する
講評はこちら

▶企画課 ☎23-3507



作文 中学生の部 最優秀賞

「この社会を変える」 田原中学校3年 藤沢ユリ

※学校・学年は
受賞時のもの

最近よく「イクメン」という言葉を耳にします。「イクメン」とは、子育てする男性という意味で、十年ほど前に政府が少子化打開の政策として打ち出したイクメンプロジェクトから一気に広がったと言われていいます。女性が中心で家事や育児をしてきたこれまでの社会で、率先して育児を行う男性が増えてきたことは喜ばしいことです。でも、「イクメン」という言葉は、いまだに育児の主体が女性であるという証拠でもあります。なぜなら、男性が積極的に育児に参加することが当たり前の社会では、「イクメン」という言葉は生まれませんからです。

男女共同参画という言葉が新聞やテレビで報道され、学校の授業の中にも登場するようになりました。私は、男女共同参画とは、男女がお互いを尊重し合い、あらゆるところで性別に関係なく、もてる力を発揮できることだと考えています。だから、「イクメン」という言葉を使わなければならないこの社会は、男女共同参画が実現されていないと思っています。

では、男女共同参画が実現されていないこの社会を変えるためには、どうすれば良いのでしょうか。その問題を解く一つのかぎが、「イクメン」の中に隠されていると私は思っています。当然のことながら、子供を産むのは女性です。お腹を痛め、命がけで出産を終えた女性は、交通事故で大けがをした後のようなものだと言われていいます。そんなボロボロの体で、休む間もなく育児を行う女性は少なくありません。出産や育児の最初において、男性のできることはあまりありません。でも、女性のそばに寄り添い、女性に声をかけ、話し相手になるだけでも女性の負担は減ります。大切なのは、女性の大変さを少しでも分かってと男性が努力できるかどうかです。「イクメン」とは子育てする男性のことだと最初に言いましたが、インターネットなどで調べてみると、「積極的に子育てを楽しみ、自らも成長する男性」を指すとも書いてありました。つまり、「イクメン」が増えるということは、育児を通して女性の大変さを理解し、何とかしなければと考える男性が増えるということです。このことから、私は「イクメン」の延長線上に男女共同参画の実現があると考えるようになりました。

NHK教育テレビに、「おかあさんといっしょ」という長寿番組があります。歌や体操、人形劇など、楽しいことが盛りだくさんなので、子供たちに人気があり、私もよく見ていました。でも、最近になって、同じNHKの衛星放送で「おとうさんといっしょ」という番組があることを見つけました。その番組を見つけたとき、「イクメン」は確実に増えているんだなと感じました。このように社会はますます変わります。良い方向に変わっていけるよう、私も手伝いたいと思います。

◆◆◆お知らせ◆◆◆ 今年度は、中学生を対象に男女共同参画啓発作文の募集を行う予定です。

パートナーシップ制度の導入について

令和4年4月1日から、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に資するため、パートナーシップ制度を導入します。

1 パートナーシップ制度とは

「パートナーシップ制度」は、一方または双方が性的少数者(※)であり、その2人が人生のパートナーであることを要綱に基づき宣誓し、市がその宣誓書を受理したことを認める制度である。

この制度は、多様性を尊重する施策として、SDGs(持続可能な開発目標)の達成にも資することから、全国の自治体で急速に導入が進んでいる。

(SDGsの目標⑤「ジェンダー平等を実現しよう」)

※性的少数者とは：性的指向や性自認等に関してのありようが性的多数派とは異なるとされている人々のことを言う。

2 全国自治体の導入状況

令和4年1月末時点で全国147の自治体(愛知県内5自治体)で導入済み(全国総人口の4割以上)。

令和2年12月に策定された国の第5次男女共同参画推進計画に、多様性に関する記述が加えられたため、今後も全国的に制度の導入が進むと考えられる。

令和3年末時点で全国延べ2,537組に証明書等が交付されている。

【東三河他市の導入状況】

豊橋市	令和3年4月1日導入済み
蒲郡市	令和4年1月4日導入済み
新城市	令和4年4月1日導入予定
豊川市	令和4年度導入予定

3 市内動向

- 田原市男女共同参画推進懇話会において意見交換
- 市民活動団体が性の多様性に関する講座、勉強会など実施

4 導入の主な効果

対 象	効 果
当事者	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的承認が得られる ・一定の保障を受けられる (保険金受取、住宅ローン、携帯電話「家族割引」等) ・性的少数者に対する理解の促進
行 政	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性を尊重する自治体として認識を得られる ・東三河5市での導入・連携で地域のPRにつながる

5 パートナーシップ制度による支援制度導入案（関係課で対応予定）

支援制度導入案		導入予定時期	担当課
市営住宅	市営住宅に夫婦とみなして入居できる	制度施行時より	建築課
タハナ	婚姻届け提出者へ贈る花束（タハナ）を受け取ることができる	制度施行時より	農政課

○今後も導入可能な支援制度について検討し随時導入

6 今後のスケジュール（案）

日 程	内 容
R4年3月	パートナーシップ制度要綱制定
	パートナーシップ制度制定の周知（記者発表、HP等）
R4年4月1日	パートナーシップ制度要綱施行・運用開始
以降	東三河5市での連携実施内容を協議

7 パートナーシップ宣誓手続きのイメージ

対象者	成年、市内住所要件、配偶者無、他のパートナーシップ宣誓者無等
必要書類	パートナーシップ宣誓書、住民票、戸籍抄本、マイナンバーカード等
宣 誓	電話予約→宣誓書提出→内容確認→宣誓書受領証の交付 (双方立会で市職員の前面において宣誓書を記入し提出)
失 効	パートナーシップの解消、転出等

第14回男女共同参画フェスティバルについて（案）

1 フェスティバルの概要

○目的

田原市男女共同参画推進プランの目標「みんなが自分らしく輝けるまち・たはら」の実現を目指すための啓発イベント。

市民活動団体が活動の発表や、団体同士・団体と一般市民同士が交流したりすることによって、自分らしく活動する人と人とのネットワークを広げる。

また、学習パネルを展示し、来場者への意識啓発を図る。

○主催 田原市男女共同参画推進懇話会

○日時 令和4年7月31日（日）10:00～15:00（エコフェスタと同日開催）

○場所 田原文化会館（予定）

○内容 男女共同参画に対する意識を啓発するための講演会
市民活動団体の活動発表、パネル展示、ブース出展等

2 フェスティバルの運営手法等確認事項（※予算成立前のため、現時点での予定）

(1) 運営体制について

○懇話会にフェスティバル運営部会を設置する。

①懇話会委員全員が部会メンバーとなり、その中から部会長、副部会長を選出する。

②企画、準備、当日運営を運営部会で行う。

③フェスティバル開催までに2回程度の運営部会を開催する。

(2) 懇話会出展内容の検討

○フェスティバル運営部会が準備

(3) 内容の改良・工夫

○フェスティバルの開催趣旨である『男女共同参画社会の推進』のための内容が十分に伝わる方法を検討する。

○図書館と連携し、フェスティバル開催日に合わせて男女共同参画関連の本のPRをする。

○若年層に対して男女共同参画の啓発を行う。

○活動発表のブース位置の決め方を検討する。

○新型コロナウイルス感染の状況を踏まえて内容等を決める。

<参考>これまでのフェスティバル (会場：田原文化会館)

第13回	◆令和3年8月1日(日) 12:45~15:00 渥美文化会館(田原文化会館から変更) オープニングコンサート：視覚障害者団体 さくらんぼ 講演会：マミーローズクリニック医師 宮本由記氏 「産婦人科医が語る大人にも知って欲しい現在の性教育」
◆令和2年度 中止	
第12回	◆令和元年8月25日(日) 10:00~15:30 市民劇団だもん de による演劇公演 「ジェンダーバイアスを越えて ~気づいてますか、日常でのすりこみ~」 市民活動団体による出展(ブース・パネル展示)
第11回	◆平成30年8月26日(日) 10:00~15:30 市民劇団だもん de による演劇公演「波のプリズム~華と雪~」 山内房子ミニコンサート 市民活動団体による出展(ブース・パネル展示)
第10回	◆平成29年8月27日(日) 10:00~16:00 映画「この世界の片隅に」上映 ※オープニングにて団体紹介 市民活動団体によるステージ発表 市民活動団体による出展(ブース・パネル展示、ワークショップ等)
第9回	◆平成28年8月28日(日) 10:00~15:00 映画「奇跡のリンゴ」上映 ※オープニングにて団体紹介 市民活動団体の活動発表 市民活動団体による出展(パネル展示、ワークショップ、フリーマーケット等)
第8回	◆平成27年8月24日(日) 10:00~16:00 映画「ぼくたちの家族」上映 ※オープニングにて団体紹介 市民活動団体の活動発表
第7回	◆平成26年8月24日(日) 10:00~16:00 市民活動団体による出展(パネル展示、ステージ発表、ワークショップ等) 映画「そして父になる」上映
第6回	◆平成25年8月25日(日) 10:00~16:00 市民活動団体による出展(パネル展示、ステージ発表、ワークショップ等) 映画「幸福な食卓」上映&監督トークショー 映画監督 小松隆志さん× 映画評論家 高野史枝さん
第5回	◆平成24年8月26日(日) 10:00~16:00 市民活動団体による出展 映画「60歳のラブレター」上映
第4回	◆平成23年8月28日(日) 10:00~16:00 市民活動団体による出展 映画「フラワーズ」上映
第3回	◆平成22年9月11日(日) 10:00~15:30 市民活動団体による出展 同時開催 あいち国際女性映画祭「プリンセス・マヤ」上映
第2回	◆第2回：平成21年9月5日(土) 10:00~16:00 市民活動団体による出展 同時開催 あいち国際女性映画祭「飛べ、ペンギン」上映
第1回	◆平成20年9月6日(土) 10:00~16:00 市民活動団体による出展 同時開催 あいち国際女性映画祭「ティラミス」上映

男女共同参画応募作品の審査について

1 男女共同参画応募作品審査結果

「みんなが自分らしく輝けるまち・たはら」の実現に向けて、男女共同参画についての意識の高揚を図るため、男女共同参画に関する作文を募集した結果は①のとおりです。

①作文募集結果

学校	作文件数
東部中学	119
田原中学	32
赤羽根中学	82
福江中学	88
合計	321

②各賞の決定

賞	受賞者
最優秀賞	7番 「男女差別を無くすために」
優秀	5番 「この先のミライ」
入賞	1番 「男女平等の実現を目指して」

各委員の取組状況・意見

1	ヒップファミリークラブ 清水直美 委員
<p>今回の中学生を対象とした作品は、どれも素晴らしかった。</p> <p>その中でも「LGBT」ひとつの個性とし、一人の人を好きになる、ただそれだけのこと、の下りに全くその通りと、スッキリした気持ちを持つことができた。</p> <p>人が人にあこがれることは自然だ。そして、つながりたい、知りたい、好きになるのも人間として自然の事だと感じた。</p> <p>NHKTV ヒューマン最新の科学データから、もともと男女を決める因子は、まだらであり、さまざまなグラデーションの中に存在しているという。</p> <p>男女の特徴的な要素はもちろんであるが、さまざまな面を持ち合わせているのが、データの中から浮かび上がった。</p> <p>今現在、アメリカ高校留学中のレポートを紹介したい。</p> <p>日々の生活を綴ったマンスリーレポートより 「最近、本当にびっくりするのが、バイセクシャルとかゲイがとても多いことだ。振る舞いはオープンで、私の近くにいる9人の内、ストレートなのは2人だけだった。」</p> <p>彼女は今、9人中2人だったとびっくりしているが、それぞれの個性としてとらえ始めているのだろうと思った。日本はどうだろうか。</p>	
2	匿名
<p>男女共同参画推進懇話会の委員に若手を起用して欲しい。</p>	
3	女性会議ウイットWIT 永田 みよ江 委員
<p>別紙のとおり</p>	

男女共同参画フェスティバルへの提案

永田みよ江 2022年2月18日

啓発と交流から市民提案の場へ

今年度は15回目の田原市男女共同参画フェスティバル

15年の歩みを振り返ると国際映画祭 ブース展示 活動発表 演劇公演と多彩な活動を行ってきた。

この15年、時代は変化、進歩してきたが、日本の女性の地位を示す世界ジェンダーギャップ指数は156か国中120位と大変低い

一方、今まで、声を揚げる事すらはばかられた、性被害をはじめ、配偶者による暴力、子ども虐待、パワハラなど、泣き寝入りするだけだった弱い立場の人たちの実態が、勇気ある告発等により見える化、少しずつ法整備は進んできた。格差社会の拡大も深刻でそれに起因する自殺、いじめ、家族間のトラブルも多く、私達の日常は、行政と深い関係にあり、行政の全ては政治である。

ジェンダーギャップ指数の低さに一番影響を与えているのが、女性の政治参加である。教育、健康政策等ではそれほど大差がないのに、世界の先進国と比較し日本の女性議員は極端に少ない。

政治分野で男女同数を目指す法律も出来てはいるが、先が見えず、法律も功を奏しないことが、大きな要因になっている。

ここ2~3年ようやくジェンダー平等という言葉が、新聞雑誌等で使われるようになったが、言葉の意味の普及は大変遅れており、市井の日常話題にすら登場しないのではないかと。コミュニティなど、まだまだ男性が中心の組織は多く、地方議会も同様である。

なので、私たちが住む地域で、一日女性議員を募集し、市長、行政へ問題提起、提案、要望、NPO等で解決できたという事案を紹介する場を設けたらどうか

私が調べたところでは、愛知県下で女性議会を開催しているところは3か所、江南市 西尾市 新城市である。議事録は全て公開されているので、だれでも閲覧できる。

議員発言に共通しているのは、自分の暮らし目線の発言である、学童保育 高校生の通学公園のゴミ 外国籍の子どもの問題など多彩であるが、生活と密着、経済優先が後ろにある。

3市とも今の議会を模試した方法なので硬さはある。

田原市で開催する場合は、もう少しやわらかな感じで開催しても良いと考える。

市民が自由に市長、行政に意見や提案が出来る方法はないのか、そういう場を作るにはどうしたらよいか、縁あり、田原市男女共同参画懇話会委員になられた皆さまと意見交換が出来たら幸いです。

小さな積み重ねを毎年していくことで、轍が出来、地域が明るくなっていくのではないかなと思う。

先日は、子どもたちのために、男女共同参画について教えていただきありがとうございました。

日本の男女平等の現状を詳しく紹介していただいたときは、子どもたちの驚いた表情が印象的でした。日本のジェンダーギャップ指数など、子どもたちの既存の考えを揺さぶっていただいたことで、「どういった問題があるのだろう」「どうしたら解決できるのだろう」など、子どもたちの中に多くの問いが生まれたと思います。その問いについて、スライドショーを用いて、丁寧に説明していただきました。また、男女共同参画社会の実現のため、子どもたちができることもわかりやすく説明していただきました。自分たちでも、男女平等の社会のためにできることが見つかったようで、担任としてとても感謝しております。

子どもたちが感謝の気持ちを込めて、手紙を書きました。拙い部分もあるかと思いますが、子どもたち一同、一生懸命書いた手紙ですので、ご一読いただければ幸いです。

また、学級通信を同封いたしました。併せてご覧になっていただけると幸いです。

この度は、子どもたちの学習のために、貴重なお時間を割いていただき、本当にありがとうございました。今後も六連小学校の諸活動にご協力いただければ幸いです。

田原市立六連小学校

愛知県男女共同参画人材育成セミナー実施要領

1 目的

政策や方針決定の場への女性の登用を積極的に推進するため、とりわけ県内各市町村において登用できる女性人材を計画的かつ継続的に育成することを目的として、愛知県男女共同参画人材育成セミナー（以下「セミナー」という。）を実施する。

2 事業の実施

本セミナーは、公益財団法人あいち男女共同参画財団（以下「財団」という。）が実施するものとする。

(1) 実施期間

毎年5月から翌年3月までの8回（最終回：発表会・修了式）

(2) 実施場所

愛知県女性総合センター（ウィルあいち）
名古屋市東区上堅杉町1番地

(3) 受講生

概ね25名（市町村推薦者）

(4) 研修内容

ア セミナー

受講生に対し、女性や社会にかかわる諸問題について知識・情報を提供するため、男女共同参画、法律、経済、労働、地域づくり、地方行政などについて、専門の学識経験者等を講師に招いて講義等を行う。

イ グループ・ワーク

受講生の交流と相互啓発を進めるため、財団が定めたアドバイザーの助言を得ながら、講義の内容等をテーマにグループ討議を行う。

ウ 研究レポート及びセミナー報告書

(ア) 研究レポート

受講生は、グループ・ワークにおいて設定したテーマについて、アドバイザーの助言を得ながら研究を進め、セミナー修了時までにグループごとにレポートを提出する。

また、グループによるレポート発表会をセミナー修了式に併せて開催する。

(イ) セミナー報告書

受講生は、グループごとに共同して講義内容を要約し、研究レポートと併せて「セミナー報告書」をまとめる。

なお、本報告書は、受講生及び県内各市町村などに配布する。

エ 経費

受講料は無料とする。ただし、受講生の交通費や食費などの経費は負担しない。

3 受講生の募集及び決定

受講生の募集及び決定は、県が行うものとする。

(1) 募集

県は、各市町村へ受講生の適格者の推薦を依頼するものとする。ただし、名古屋市以外の市町村については、東三河総局及び県民事務所等を通じて依頼するものとする。

(2) 受講生の参加資格

ア 県内に在住する女性であること。

イ 年齢は、18歳から65歳までであること。

ウ 心身ともに健康で、全日程を通して参加可能な者であること。

エ セミナー修了後、現在参画している団体・グループ等における活動をより積極的に展開するとともに、女性人材育成を目的にこれまで県が実施してきた事業等（本セミナーを含める。）の修了者を主体に構成する地域実践活動グループに加入するなど、男女共同参画社会の実現及び女性の自立・社会参画・地位向上に向けて、セミナーの成果を生かす取組ができる者であること。

オ 市町村との雇用関係（地方公務員法第三条第3項三、三の二及び五、第二十二條の二並びに第二十二條の三に該当する者を除く。）がない者であること。

(3) 県は、各市町村長から推薦のあった候補者から受講生を決定し、財団へ通知するものとする。

なお、セミナー開催中に政治的活動又は宗教的活動等を行い、セミナーの進行を妨げた場合は、決定を取り消すものとする。

4 修了者の認定

最終回を除くセミナーへの出席率が70%以上で、かつ、グループ・ワークによる研究レポートを提出した受講生を修了者と認定する。

5 この要領に定めるもののほか、本事業の実施に関して必要な事項は、別に定める。

附則

この要領は2021年4月1日から施行する。

市民活動を応援しています！

＜令和4年度版＞田原市市民活動支援制度

田原市では、市民参画・協働のまちづくりを促進するため、市民の皆さんが実施する公益的な活動を支援するための補助金制度を設けています。ぜひ、あなたの市民活動にご活用ください。



市民協働まちづくり事業補助金



みんなで社会に役立つ活動がしたい！

健康福祉・環境保全・地域づくりなどの公益活動を行う市民活動団体さんを応援する制度です。市民感覚の柔軟な発想で、社会に役立つ活動を提案してみましょう！

【募集期間】

① 通常枠 (補助対象経費 10 万円以上)

令和4年2月9日(水)～3月11日(金)

② 少額枠 (補助対象経費 10 万円未満)

令和4年2月9日(水)～令和5年1月27日(金)
随時受付 (予算額に達し次第終了)

⑤ 人材養成枠

市民活動団体さんの活動に関連する講座等の受講費用を補助する「講座枠」と、先進的な事例の視察・調査のための費用を補助する「視察枠」の2本柱です。やる気・熱意のある方を応援します！

【募集期間】

令和4年2月9日(水)～令和5年1月27日(金)

随時受付 (予算額に達し次第終了)

※講座枠、視察枠ともに同じです。

団体の活動を活発にするために、スキルアップしたい！



③ 新規団体枠

新たに仲間を募って立ち上がった市民活動団体さんを応援する制度です。ぜひご活用ください。

【募集期間】

令和4年2月9日(水)～令和5年1月27日(金)

随時受付 (予算額に達し次第終了)



市民活動を始めてみたけど、活動資金のやいくりが難しい…

④ チャレンジ枠

40歳以下の若い世代の市民活動団体さんを応援する制度です。フレッシュさ溢れる斬新なアイデアで、仲間と一緒に楽しみながら市民活動をしてみませんか？

【募集期間】

令和4年2月9日(水)～令和5年1月27日(金)

随時受付 (予算額に達し次第終了)

地元の仲間と、職場の同僚と…市民活動にチャレンジ！！



☆それぞれの補助金、委託制度の詳細な募集概要は、市ホームページや広報たはらで紹介しています。

市民提案型委託制度

市役所の仕事をわたしたちでやってみよう！



市民活動団体さんが提案した地域の課題を解決するための事業を、市と団体が委託契約を結び、実施します。

【テーマ提示型】

【令和4年度募集テーマ】

男女共同参画啓発事業

男女共同参画を市民の方に広く知ってもらうための講座の企画、開催やパンフレットの作成など

【募集期間】

令和4年4月1日(金)～5月31日(火)

【選考方法】

書類審査、非公開審査会



【自由テーマ型】

「市の事業でこんなイベントがあればいいのに！」ツイッターやフェイスブックの活用講座の企画など、皆さんの自由な発想でご提案ください。

【募集期間】

令和4年4月1日(金)～7月29日(金)

【選考方法】

書類審査、非公開審査会





田原市社会貢献活動災害補償制度



田原市市民協働まちづくり条例の施行に伴い、市民活動団体による市民公益活動に取り組みやすい環境を整える市の責務が明確化されました。市では市民公益活動（社会貢献活動）中の万一の事故に対して、田原市社会貢献活動災害補償制度により、一定額の補償を準備し、活動者又はその指導者が安心して活動していただくことにより、市民協働のまちづくりの促進を図ります。

補償対象となる団体

市内に活動拠点を置く5人以上で構成する市が認めた団体（地域コミュニティ、体育協会、文化協会、市や社会福祉協議会が事務局を担う団体など 詳しくは市民協働課へお問合せください。）で、継続的に活動し、その責任者が明確になっている団体。※市外居住者が構成員の過半数を占める団体を除く。

補償対象となる活動

補償対象団体が自主的に取り組む社会貢献活動で、計画的、継続的又は臨時的な直接的活動です。

情報発信

市民活動だより



広報たはら



どすごいネット



ホームページ



Facebook



YouTube



田原市民活動支援センター

センター発行紙



市民活動に関する相談、支援等を行っています

■田原文化会館フリースペース TEL 0531-22-1111（内線 812）※開設時のみ

開設日時 火曜日・土曜日 12:00~16:00

メールマガジン発行中!

HP : <http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/> E-mail : shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

■田原市役所企画課（南庁舎 3 階） TEL 0531-23-3507 FAX 0531-23-0669

開設日時 平日 8:30~17:15

E-mail : kyoudou@city.tahara.aichi.jp

